

2025 年度
就職に関する広島文教大学卒業生アンケート
集計結果

2026 年 3 月 31 日
広島文教大学キャリアセンター

1. 実施概要

(1) 実施目的およびアンケート内容：本学の教育環境改善のため

- ① 卒業後の就職等の状況把握
- ② ディプロマ・ポリシーの達成状況に関する自己評価
- ③ 在学中に受けた教育内容や支援について
- ④ 就職支援の満足度

(2) 対象：

	郵送数(人)
2025年3月卒業生	360
2023年3月卒業生	393
対象者数	753

※現住所が確認できた卒業生のみ郵送

(3) 回答期間：2025 年 12 月下旬～2026 年 2 月 28 日

(4) 回答方法：WEB

2. 回答者数・回答率

※グラフ構成比は小数点第 1 位を四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にはなりません。

	回答者数(人)	回答率(%)	郵送数(人)
2025年3月卒業生	65	18.1%	360
2023年3月卒業生	51	13.0%	393
全回答数	116	15.4%	753

I. 回答してくださるご本人の状況についてお聞きます。

問 1. あなたの卒業年を教えてください。

	回答者数(人)	回答率(%)
2025年3月卒業生	65	56.0%
2023年3月卒業生	51	44.0%
全回答数	116	100.0%

問 2. あなたが在籍されていた学科について教えてください。

所属学科	回答者数 (人)	割合 (%)	2025年 (人)	2023年 (人)
教育学科	62	53.4%	42	20
人間福祉学科	22	19.0%	9	13
心理学科	17	14.7%	8	9
人間栄養学科	8	6.9%	5	3
グローバルコミュニケーション学科	7	6.0%	1	6
合計	116	100.0%	65	51

問 3. あなたの現在の居住地（都道府県名、海外の方は国名）を教えてください。

居住地	全体(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
広島県	66	56.9%	38	28
島根県	11	9.5%	8	3
山口県	10	8.6%	4	6
愛媛県	6	5.2%	5	1
鳥取県	4	3.4%	1	3
東京都	3	2.6%	2	1
神奈川県	3	2.6%	1	2
大分県	2	1.7%	0	2
兵庫県	2	1.7%	0	2
岡山県	1	0.9%	1	0
大阪府	1	0.9%	1	0
高知県	1	0.9%	0	1
香川県	1	0.9%	1	0
佐賀県	1	0.9%	1	0
福岡県	1	0.9%	1	0
熊本県	1	0.9%	0	1
埼玉県	1	0.9%	0	1
愛知県	1	0.9%	1	0
合計	116	100.0%	65	51

問 4. 現在あなたは働いていますか。

	全体(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
働いている	112	96.6%	64	48
働いていない	4	3.4%	1	3
合計	116	100.0%	65	51

(1) 「働いている」と答えた方にお聞きします。

現在在籍されている会社・団体はどれに該当しますか。

	全体(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
教育・学習支援業	37	33.0%	27	10
医療・福祉	24	21.4%	10	14
幼稚園・保育所	23	20.5%	13	10
サービス業	14	12.5%	6	8
卸売・小売業	3	2.7%	3	0
製造業	2	1.8%	0	2
金融・保険業	2	1.8%	2	0
飲食業・宿泊業	1	0.9%	0	1
その他	6	5.4%	3	3
合計	112	100.0%	64	48

その他	2025卒	公務員2人・団体職員1人
	2023卒	建設業1人・エンターテインメント業1人 不明1人

(2) 問 4 で「働いていない」と答えた方にお聞きします。卒業後、就職したことがありますか。

	回答者数(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
就職したことがある	3	75.0%	1	2
就職したことがない	1	25.0%	0	1
合計	4	100.0%	1	3

問5. 就職後の離職について、離職経験が複数回ある場合は、その回数を教えてください。

	回答者数(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
1回	3	100.0%	1	2

問6. 離職の経験がある方にお聞きします。

卒業後、最初の勤務先の退職理由は何ですか。理由を3つ以内で教えてください。

	全体(人)	2025年(人)	2023年(人)
職場の人間関係がよくなかった	3	1	2
病気やストレス等心身の不調のため	2	1	1
ノルマや責任が重いなど精神的にきつかった	2	1	1
仕事が合わなかった	1	0	1
他にやりたいことがあった	1	0	1
結婚・妊娠・出産・育児のため	0	0	0
仕事にやりがいを持てなかった	0	0	0
労働時間や休みなどの待遇がよくなかった	0	0	0
仕事量が多いなど体力的にきつかった	0	0	0
賃金の条件が良くなかった	0	0	0
その他	0	0	0
合計	9	3	6

問7. 将来、社会人や職業人として自立していくために大学時代に優先的に取り組むべきと思われることや、学生に向けたアドバイス等がございましたら記入してください。

(自由記述は一部抜粋)

【2025】

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応で心が折れないように接客業のアルバイトをしておくが良い。 ・旅行での経験は、臨機応変に対応する力を身につけられ、子どもたちとの会話のネタにもなる。 ・周りの人を巻き込んで活動する経験があれば良い。友達以外と活発にコミュニケーションがとれる力は、組織の中で活かせる。 ・休みを謳歌すること。 ・自ら主体的に行動する力をつける。 ・自己分析して自分に足りないもの、変わりたいことを書き出して、意識的に改善しようとする。学外での活動やアルバイト、サークルなどの活動経験は多ければ多いほど良い。面接での引き出しが増え、自信に繋がる。 ・提出物の期限やメールの返信など、相手に迷惑がからないようすぐに取り組む。 ・自己肯定感が高められるので、専門分野の知識をしっかり身につけること。 ・取得しやすい資格は取っておく。 ・ストレスマネジメントができるようになる。 ・企業研究、自分の希望する条件の企業をさがす。 ・就職先で働く際に必要なスキルや知識の向上。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト、実習、ボランティアなどで様々な人と関わる機会を作る。 ・自分の得意・不得意を分析し、自分に合う職業等を探す。 ・自分の好きなこと、趣味を広げてストレス発散方法を知っておく。 ・疑問を持ち、率先して解決しようとする力をつける。 ・あいさつができるようになる。 ・パソコンを使う作業に慣れること。 ・計画的に課題を終わらせ、期限を決めて取り組む。 ・実習先で聞きたいことはなんでも聞いておく。 ・様々な年代の人が働いている場所でアルバイトをすると、社会に出ても言葉遣いや立ち振る舞いに困らない。 ・自分に与えられた仕事に責任を持つこと。 ・いろいろなことに挑戦し、たくさんの経験を積む。 ・自分が働きたい職種のボランティア活動を行うこと。 ・日々の講義を大切にすること。 ・積極的にICTに触れること。 ・ビジネスマナーを身につけ、正しい言葉遣いを意識すること。 |
|---|--|

【2023】

- ・アルバイトやボランティアなど、様々な人と関わり、自分がやりたいことを見つけておく。
- ・専門分野の知識を身につけておく。
- ・ボランティア活動やアルバイト、地域活動に参加する。
- ・英語力をつける。
- ・素直に謝れる、頼れるようになること。
- ・「ほめる指導」だけをして、学級経営は上手くいかない。「叱る」「叱る」の両方から経営していくので、「叱る指導」の方法も大学で学んで欲しい。
- ・職種に拘らず自由な考えで自分のやりたいことを探す。
- ・コミュニケーション能力を身につける。
- ・様々な職種や年齢の人と関わり、考え方の違いや表現方法を知ること。自分の思いをきちんと言葉にして伝える練習をすること。
- ・目の前の物事にしっかり取り組む。
- ・自分の意思、気持ちをしっかり持ち、相手に伝える姿勢が大切。
- ・お金の使い方を学んでおく。
- ・ボランティア活動やアルバイトを通して、多世代と関わり、礼儀や社会的マナーを身につけておく。
- ・資格取得に取り組む。
- ・一人暮らし。
- ・仕事だけでなく興味があることを増やし選択肢を増やしておく。
- ・パソコンをある程度使えるようになっておく。就職先に関する勉強をしておく。
- ・電話対応、一般常識を身につけておく。
- ・社会人としてのマナーを身につけておく。
- ・アルバイト等をして、一般常識を身につける。能動的に計画的に勉強をする。
- ・アルバイト、自己理解、セルフケアが大切。
- ・幼稚園や保育所で働こうと思っているならば、シスター系はいくつあっても良いので、学生のうちに様々な物を作っておくと役に立つ。
- ・大学の授業にきちんと出席して、朝起きの習慣をつけておく。
- ・アルバイトやボランティア活動で、自分の好みや、自分の適性を知っておく。

Ⅱ. 在学中に身につけたディプロマ・ポリシーが、現在勤務している企業または団体で活かしているかをお聞きます。

問1. 【実践力】

目標の達成に向けて、情報収集や解決策の提案などを積極的に行うことができますか。

	よくできている	ある程度できている	どちらとも言えない	あまりできていない	全くできていない
2025年(人)	15	42	6	0	2
2023年(人)	13	25	10	3	0
合計	28	67	16	3	2

問2. 【自律性】

困難な状況の中においても主体的に取り組む姿勢を身につけていますか。

	よく身につけている	ある程度身につけている	どちらとも言えない	あまり身につけていない	全く身につけていない
2025年(人)	24	33	7	0	1
2023年(人)	13	30	8	0	0
合計	37	63	15	0	1

問3. 【コミュニケーション力】

相手の立場や状況に合わせて適切にコミュニケーションをとることができますか。

	よくできている	ある程度できている	どちらとも言えない	あまりできていない	全くできていない
2025年(人)	36	19	10	0	0
2023年(人)	20	26	4	1	0
合計	56	45	14	1	0

問4.【活用力】

大学で修得した知識や技能を職業生活において活用することができていますか。

	よくできている	ある程度できている	どちらとも言えない	あまりできていない	全くできていない
2025年(人)	20	29	12	3	1
2023年(人)	11	26	7	5	2
合計	31	55	19	8	3

問5.【育心育人】

他者への配慮、多様性の理解、豊かな社会生活を実現しようとする態度を身につけていますか。

	よく身につけている	ある程度身につけている	どちらとも言えない	あまり身につけていない	全く身につけていない
2025年(人)	36	25	3	1	0
2023年(人)	20	27	4	0	0
合計	56	52	7	1	0

■ 全回答者集計 (回答：116人)

(人)

		よくできている よく身につけている		ある程度できている ある程度身につけている		どちらとも言えない		あまりできていない あまり身につけていない		全くできていない 全く身につけていない	
		全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)
①	【実践力】 目標の達成に向けて、情報収集や解決策の提案 などを積極的に行うことができていますか	28	24.1%	67	57.8%	16	13.8%	3	2.6%	2	1.7%
②	【自律性】 困難な状況の中においても主体的に取り組む姿 勢を身につけているか	37	31.9%	63	54.3%	15	12.9%	0	0.0%	1	0.9%
③	【コミュニケーション力】 相手の立場や状況に合わせて適切にコミュニ ケーションをとることができているか	56	48.3%	45	38.8%	14	12.1%	1	0.9%	0	0.0%
④	【活用力】 大学で修得した知識や技能を職業生活において 活用することができているか	31	26.7%	55	47.4%	19	16.4%	8	6.9%	3	2.6%
⑤	【育心育人】 他者への配慮、多様性の理解、豊かな社会生活 を実現しようとする態度を身につけているか	56	48.3%	52	44.8%	7	6.0%	1	0.9%	0	0.0%
合計		208	35.9%	282	48.6%	71	12.2%	13	2.2%	6	1.0%

Ⅲ. 在学中にディプロマ・ポリシーを達成するために役立った活動についてお聞きします。

問1. 卒業後の社会生活においてディプロマ・ポリシー達成に役だったと思う「大学時代の授業や活動」について教えてください。理由を3つ以内で教えてください。

	全体(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
①アルバイト	80	25.8%	42	38
②実習・インターンシップ	59	19.0%	36	23
③学業全般	41	13.2%	21	20
親元を離れた一人暮らし	27	8.7%	12	15
サークルや部活動	27	8.7%	11	16
卒業研究としての研究室・ゼミ活動	25	8.1%	16	9
ボランティア	20	6.5%	13	7
就職活動	17	5.5%	9	8
旅行	9	2.9%	6	3
海外留学	5	1.6%	4	1
合計	310	100.0%	170	140

問2. 上記問1で「学業全般」と答えた方にお聞きします。

1) 教養科目・専門科目のどちらの科目が役に立ったと思いますか。

	2025年(人)	2023年(人)
教養科目	2	3
専門科目	12	12
どちらも役に立っている	15	12
合計	29	27

※「学業全般」と回答していない学生の回答も集計対象

2) その科目は、社会に出てどのように役立ちましたか。

(自由記述は一部抜粋)

【2025】

- ・教員として働く上での基礎となっている。
- ・専門的な知識や技術を知っておくことで、授業作りに役立てることができる。
- ・専門性が、顧客対応に役立っている。
- ・保育士として働くうえで専門科目が役立っている。
- ・習ったことと現場の介助が異なる場合も多いが、基本を忘れないよう心掛けている。
- ・専門知識を理解したうえで仕事に取り組める。
- ・手遊びやピアノの実践演習は、実際の保育の場で活用。座学で学んだ知識は、保育士同士の話し合いの場で活かしている。

- ・教育法規への理解を深め、適切な授業実践へと繋げている。
- ・教育の知識を活かし、子どもの姿を発達過程に照らし合わせて捉えることができる。
- ・社会で必要なスキルを学んだことで、円滑なコミュニケーションや適切なマナーを実践できている。
- ・専門教科は、教材研究などに役立っている。教養教科は、社会の仕組みや時事問題を、子どもたちに豆知識として伝えることができる。
- ・多様な価値観への理解を深められる。

【2023】

- ・専門職としての役割を理解し、日々の業務に活かしている。
- ・教養科目の英語は外国籍の児童や保護者と接する際に役立っている。専門科目は教科指導法が役立っている。
- ・実践的な内容を学習したことで、それを活用して学級づくり、授業づくりができた。
- ・子どもたちと関わる際に役立っている。
- ・実践力やコミュニケーション力を現場でも活かすことができている。
- ・専門的な知識を保護者と共有できる。

- ・様々な人とのコミュニケーションに役立っている。
- ・教育分野、全てにおいて役立っている。
- ・傾聴や秘密保持など、心理学の基本的な知識や規則が役立っている。
- ・自身の関心に左右されず幅広い教養を身につけることは、他者と信頼関係を築く上で重要。専門科目は、福祉の倫理観など深く学ぶことで、どのような環境においても的確に業務を遂行できる。
- ・障がい者福祉に従事する際、大学で修得した障がい特性に関する知識を活かし、適切な支援をすることができる。

3) 社会人基礎力を身につけるために、特に役に立ったと思う授業科目を教えてください。

【2024】

- ・教育実習に関する学修
- ・BECCの授業と卒論
- ・少人数授業
- ・実践演習
- ・卒業研究
- ・教育学演習3
- ・ゼミ

- ・教材の研究と開発(言葉)
- ・教育実習
- ・保育実習
- ・キャリア系科目全般
- ・コミュニケーション技術
- ・生活技術演習
- ・算数科教育学

- ・臨床系分野
- ・子どもの発達、社会的養護、保育の5領域
- ・人生論
- ・人間学
- ・ジェンダーと社会

【2023】

- ・教育実習
- ・福祉科目全般

- ・給食管理実習
- ・ゼミ

- ・教育学
- ・英語

IV. 本学の就職支援についてお聞きします。

問1. 全体的な満足度はいかがでしたか。あてはまるもの1つを教えてください。

	全体(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
満足	56	48.3%	39	17
やや満足	37	31.9%	13	24
どちらともいえない	23	19.8%	13	10
やや不満	0	0.0%	0	0
不満	0	0.0%	0	0
合計	116	100.0%	65	51

問2. その理由を記入してください。（自由記述は一部抜粋）

*「満足」「やや満足」理由

【2025】

- ・最後まで丁寧にサポートしていただいた。
- ・県外の就職相談ができた。
- ・お盆期間にも面接練習をしてくださった。スキルが身についたのはもちろん、これだけ練習したという自信にも繋がった。
- ・面接の練習など、真摯に付き合ってくださった。
- ・手厚く対応してくださった。
- ・ハローワークの方と面談をして、現在の就職先を決めることができた。
- ・否定されなかったから。また、希望業種や就職先を選ぶうえで大事にしていることを聞いてくださり、思いもよらなかった企業をいくつか教えていただけた。
- ・先生方が親身になって話を聞いてくださった。
- ・サポートが手厚かった。
- ・現場でとても役に立った。

- ・面接練習・履歴書の書き方等を丁寧に指導してくださった。
- ・親身に相談に乗ってくださった。
- ・試験対策のセミナーなども複数あり、面接練習においても、多くの先生方が協力してくださった。
- ・進路決定まで支援してくださった。
- ・自分の好きな時間を選んで、支援を受けることができ、親身に相談に乗ってくださった。
- ・何度も相談に乗ってくださった。
- ・就職に関する悩みの相談に乗っていただき、最後まで、最大限の支援をしていただいた。
- ・相談からエントリーシートの添削助言、面接練習全て助けていただいた。
- ・履歴書の添削や面接練習、就職セミナーなど一人ひとりに対する支援が手厚かった。

【2023】

- ・面接練習などたくさん指導していただいた。
- ・手厚いサポートが良かった
- ・面接練習が役立った。
- ・先輩の就職試験の対策を知ることができ、履歴書の添削や面接対策をしていただけた。
- ・困っている時、親身になって話を聞いてくださった。
- ・面接などでしっかりとアドバイスをくださり、納得のいくまで練習をしていただいた。
- ・履歴書の添削や面接練習など丁寧に对应してくださった。

- ・様々な情報を得ることができた。
- ・面接練習を納得いくまで行ってくださった。また、不安な点や疑問点がある際にも、とても優しく寄り添ってくださった。
- ・面接対策や志望動機の添削をたくさん行っていた。
- ・自分に合った就職先かどうかを考えていただけた。
- ・試験対策が手厚い。過去問などから試験対策を行うことができた。
- ・マナー講習や、外部講師の講習が良かった。

***「どちらともいえない」理由**

【2025】

- ・就職課との関わりがなく、教員採用試験対策に取り組んでいた。
- ・面接練習でアドバイス等あまりなく、淡々と終わってしまった。

- ・就職支援の環境をもう少し整えて欲しい。
- ・あまり利用していない。

【2023】

- ・就職課利用までのハードルが高い。就職について方向性が定まらず、どう相談したら良いか分からなかった。業界研究セミナーや座談会など、自身の就職活動に上手く活用できなかった。

- ・個人的に就職活動をしたので、あまり就職課との関わりがなかった。
- ・支援を有効に活用できなかった。

問3. 以下の就職課の支援で役に立ったものは何ですか。

	全体(人)	割合(%)	2025年(人)	2023年(人)
①面接練習	52	28.9%	28	24
②履歴書添削	41	22.8%	21	20
③就職相談	35	19.4%	20	15
全員面談	19	10.6%	10	9
業界研究セミナー	9	5.0%	6	3
BUNKYO卒業生就職座談会	8	4.4%	2	6
公務員対策講座・資格取得対策講座等	6	3.3%	1	5
就職課支援ガイダンス	4	2.2%	2	2
就職試験・SPI対策講座	3	1.7%	3	0
個別会社説明会	3	1.7%	1	2
合計	180	100.0%	94	86

問4. 就職課の支援以外に、就職活動に役立ったことがあれば教えてください。

(自由記述は一部抜粋)

【2025】

- ・教員採用試験対策
- ・学友会活動
- ・学園祭での模擬店やステージでのパフォーマンス
- ・授業作りや言語活動、学級作り等の講義
- ・顔晴りの会
- ・ゼミ
- ・県人会で情報交換
- ・模擬保育
- ・先生方の面接練習
- ・サークル活動

【2023】

- ・先生方の面接練習
- ・教員採用試験の報告会
- ・実習
- ・県外の就職サービスの紹介
- ・教採セミナー
- ・寮生活
- ・県人会
- ・サークル活動での情報交換
- ・ゼミや専攻科の講師との面談

以上